

大河津分水路 山地部及び低水路掘削、第二床固改築、野積橋架替等

○事業期間 平成27年度～令和20年
※事業計画変更後の事業期間

①大河津分水路 「令和の大改修」

大河津分水路より上流側に位置する信濃川（中流部）や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路において平成27年度より事業に着手しています。

千曲川や信濃川（中流域）に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風洪水と同規模の洪水が発生しても、堤防の決壊、越水等による被害の防止又は軽減を図るため、令和4年12月に信濃川水系河川整備計画を変更し、低水路掘削範囲を追加する事業計画の変更を行いました。

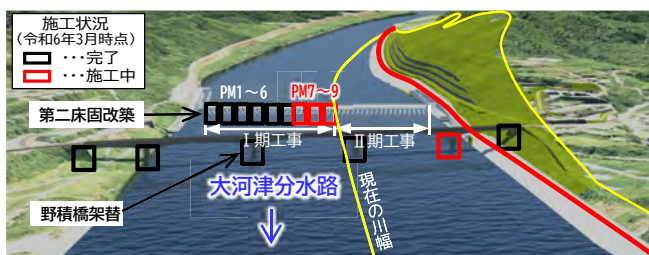
「令和の大改修」では、課題となっている洪水処理能力向上や河床の安定、老朽化施設の対策として、山地部及び低水路掘削、第二床固改築、野積橋架替等を実施します。



令和6年度は、山地部及び低水路掘削、第二床固改築、野積橋架替等を引き続き推進します。

なお、山地部の掘削土は、「大河津分水が“ひらく”地域活性化プロジェクト」として、堤防の強化に活用している他、地域の活性化につながる周辺自治体の事業への有効活用を行っています。

また、大河津分水路「令和の大改修」では、効率的・効果的な施工を進めるため、BIM/CIM (Building and Construction Information Modeling / Management) の導入を行っています。



BIM/CIMによる大河津分水路「令和の大改修」完成予想図
(河口より上流を望む)



令和元年東日本台風による洪水時、大河津分水路の状況
撮影：R1.10.13
J R越後線 信濃川分水橋梁付近

第二床固副堰堤付近
撮影：R1.10.13



河口付近の状況 (撮影日：令和6年2月29日)



新第二床固 鋼殻ケーソン (PM7~9) 据付・設置の状況 (撮影日：令和6年2月29日)



新野積橋 (仮称) 施工の状況 (撮影日：令和6年2月29日)



山地部掘削の状況 (撮影日：令和6年2月29日)

大河津分水路 河道掘削

①大河津分水路「令和の大改修」

わたべ
② 燕市渡部地先

令和元年東日本台風時に計画高水位を超過し非常に危険な状態となった大河津分水路の河道を掘削し処理能力を向上させます。
令和6年度は、昨年度に引き続き石港遺跡の埋蔵文化財調査の実施、河道（低水路）の掘削を行います。



大河津分水路 堤防強化（浸透対策）

掘削土活用

③ 燕市新長地先等（大河津分水路右岸）

③ 燕市新長地先等（分水西部地区）

堤防の安全性を向上させることを目的に堤防の断面を大きくする堤防強化（浸透対策）を行っています。また、分水西部地区の低く冠水リスクの高い田に「令和の大改修」で掘削した土を活用した盤上げを行っています。

令和6年度は、蒲原用水の付け替えを完了させるとともに、旧島崎川排水樋管の撤去を行います。



信濃川 河道掘削

④ 長岡市榎下町地先

令和元年東日本台風時に流下能力不足により堤防が危険となった箇所の河道を掘削し処理能力を向上させます。

令和6年度は昨年度に引き続き、長岡市榎下町地先において、掘削を行います。



信濃川 河川防災ステーション

⑤ 長岡市信濃地先、長岡市左近町地先

迅速な災害復旧活動や洪水時の水防活動を支える拠点である「河川防災ステーション」を整備しています。

令和6年度は河川防災ステーションの整備と水防資材等の整備を進めます。

長岡地区
河川防災ステーション
(信濃)



信濃川 河道掘削

⑥ 小千谷市三仏生地先

令和元年東日本台風時に流下能力不足により堤防が危険となった箇所の河道を掘削し処理能力を向上させます。

令和6年度は昨年度に引き続き、小千谷市の三仏生地先において、掘削を行います。



信濃川 遊水地

⑦ 小千谷市塩殿地先 ⑧ 小千谷市真人町地先

洪水を一時貯留する遊水地を整備し、令和元年東日本台風により発生した浸水被害を防ぎます。

令和6年度は、必要な用地の取得、工事用道路、河川と遊水地を仕切る堤防（囲繞堤）の工事などを進めます。

